

MILF HUNTERS FILE

G.W. SPECIAL!!

2022

熟れ熟れ
アラフィフママが
チャラ男にパパ
呼ばわりされながら
思い切り種付け
されちゃう本♡

本日のママ

岬綾子さん (51)



K=Yamaoka/paradiddle presents

R18
ADULT ONLY

成人向け同人誌

去年末、マッチングアプリで知り合った熟犬好きという共通点から話が弾み、連絡しあう仲に。

話を聞いていると、どうやら旦那は出張が多くずっとセックスレス状態だという。

息子も就職して一人暮らしらしく、寂しさを紛らわすため犬を飼うようになったらしい。

お互い時間に余裕があるため、連絡を密にして徐々に警戒心を解いていき、一か月後飲みを誘う。

最初は年齢差を理由に会うことに消極的な熟だったが押しに弱く何とか飲み友達にランクアップ。

好みでなければ、飲みトモでもいいかと思っていたが実際会ってみると、普通っぽさの中に妙なエロスがあるドストライクな熟だったため、マジターゲットに変更。

それから何度か飲むうちに、熟もこちらを意識している素振りが見え始めたので、マジ口説き。飲みでの軽キスの抵抗が薄かったので再度強気に押してとうとう五十路熟マンコをゲット。

そのまま肉体関係になり、セフレにした。

お堅い女かと思いきや、五十路でセックスを覚えた遅咲きの性欲は凄く、意外にMな一面も……。M調教は得意中の得意なのでいつも通りセックス漬けにして、俺無しではいられないカラダにした。

そして今日は、さらに熟の開発を進めるため、夫婦の寝室で本気交尾しっぴかり誰の女かわからせることと、もう一つ、ある計画を実行するため熟の自宅を初めてサプライズ訪問してみた。

「おっ！綾子さん散歩中？丁度良かった伝之助も初めましてだな写真では見てたけど♡」

「えっ……………!? 徹也くん……………何でここに居るの!？」

「いやあ今日は綾子さんに折り入ってお願いが……………♡」

「お願いじゃないわよどうするのよこんなところ誰かに見られたら……………!」

「だからさこんなトコで立ち話も不用心だし人が見られないところに行こうよ♡」

「人が見られないとこつてどこよ……………!」

「モチロン綾子さんのお・う・ち♡」

「なッ……………!! 馬鹿出来るわけないでしょ!？」

「えー冷たいなあ俺のことはアソビだったんだあ♡」

「何言つてんのそういう事じゃ……………」

「急がないと人が来ちゃうよ? ほら向こうの角……………」

「もう仕方ないわね! 早く来なさい! 離れて歩くのよ!」



「もう馬鹿ね！びつくりするじゃない!!」

「へへ驚いた？サプライズ♡」

「サプライズじゃないわよ!」

「まあまあ旦那さんがいない日なのは聞いてたからさ♡」

「だからって……ご近所にも見られたらどうするつもりだったの!？」

「ん~~~~じゃあ綾子さんを奥さんにしちゃう♡」

「バカふさげないで!本当に焦ったんだから……」

「ええ~~~~じゃあバレたら別れる？」

「もう!意地悪なんだから……そんなの……今さらできるわけないでしょ……」

「へえ何で？」

「もうホントに意地悪なコね!おばさんが徹也クンに本気になっちゃってるからよ!」

「まったく可愛いなあ綾子は♡じゃあそんな俺に本気の綾子ちゃんに今日はひとつお願いがあるんだけど……」

「何よあらたまって……」

「今日は綾子が誰の女か思い切り思い知らせてやろうと思ってさ夫婦の寝室で思い切り交尾しようぜ♡」

「もう……どうしたらそんなキチクなコト思いつくのよ……」

「それじゃあ何でさつきから鼻息荒くしてんだよ♡ホラベッド行くぞ綾子♡」

「ああ……ん♡」

「ちよつと！カメラダメだってばあ！」

「ええ~~~~何でえ？いいじゃん愛のメモリー♡愛のメモリー♡

「もうバカそういう問題じゃないでしょこんなカラダの線の緩んだオバさん撮ってどうするのよ……」

「何言ってるのメチャメチャイケてるって♡」

「もうバカ！」

「いいからこっち来いって……ホラ♡」

「あんツ……はああ♡」

「にしても相変わらずたまんねーカラダしてんなあ♡」

「ウソばかり……こんなオバさん……」

「マジだって♡おっぱい垂れ気味でやーらけーし♡もみ心地サイコー♡」

「嬉しッ……そんなコト曰那は言ってくれないから……♡」

「つたくだらしねえ曰那だな♡じゃあ俺が代わりにたっぷり可愛がってやっか♡」



「そッ……ああん……♡嬉しいッ♡こんなオバさんを女扱いしてくれるなんて♡」

「へへ♡体ビクビクさせながら感じやがって♡ドスケベ♡ほんと綾子はチョロいよな♡」

「ああん♡酷いッ♡オバさんをこんなにしたのは徹也クンよッ!? 徹也クンだからオバさんこんなになっちゃうの♡」

「バーカ俺もだよ♡さっきからずっとギンギンなのが背中当たってっだろ?」

「ホ~~~~ラ♡」

「ああ……………♡な……………何てことするのよお……………こんなオバさんに……………♡」

「いいからこっち来てウンコ座りすんだよ……………♡」

「あ♡あ♡あ♡」

「ホラニヤンニヤンのポーズ♡」

「ああ……………何て格好させるの……………」

オバさんもう五十代なのよ……………♡それなのにこんな酷い恰好……………♡」

「さてはこの格好知ってるな？」

「ああねネットで見たわよ……………み……………見せ槍……………ッ……………見せ槍って言うんでしょ……………♡」

「よく知ってんじゃない♡まあそんなこと言ってるのはよっぽどの変態だけだな♡」

「ああ……………もう……………三十歳も年上の女をこんな晒し者にして……………はあ……………はあ……………お願い……………もういいでしょう？
しゃぶらせて……………♡徹也クンのおつきいおチンポ……………オバさんにしゃぶらせて……………♡」



「よ~~~~しじゃあ舌出せ♡」

「んあ……はあい♡」

「俺のチンポ欲しいか？」

「ああ……欲ひい……♡徹也クンの
おひんほ舐めはいれふう……♡」

にゅあ♡♡♡

「じゃあ今日はカッコつけずに俺好みに
思いつきり下品に音立てて頬張るんだぞ♡」

「ふあい……♡思い切り下品にしゃぶりますう……♡」

「うはッ♡五十路の上目遣いフェラ超エロッ♡」

「んむッ……ぶッ♡んぶううッ♡」

「今日はメチャメチャ溜めてたからカウパアの牡味濃いいだろお？」

「んふッ♡ふごいッ♡濃ふぎてアタマクラクラふるうッ♡」

「ドスケベ♡俺とセックスするまでロクにチンポもしゃぶった事なかったクセに牡汁の味で興奮するようになりやがって♡」

「ああん♡ひろいッ♡徹也くんがオバさんに
回交尾覚えろつれ仕込んらくへにいッ……♡」



「おおッ♡ダメッ♡ピストンッ♡いきなりピストンダメッ♡」
「オラッ♡お待ちかねのチンポだぞ♡たっぷり味わえッ♡」
「んおッ♡キツッ♡こ……壊れるッ♡おまんこ壊れるッ♡」

「ダメッ♡徹也クンッ♡許ッ……んおおおおおおおッ♡」

「どうだ!?旦那のよりいいかッ!」

「いいッ♡いいッ♡全然イイッ♡旦那のとなんか比べ物になんないッ♡」

「よしッ♡じゃあもう綾子は今日から俺の女房になれッ♡いいいなッ♡」

「ああッ♡いいのッ!?こんなオバさんでもお嫁さんにしてくれるの!」

「ああ♡なれよ綾子ッ♡俺のセフレ嫁便器になれッ♡」

「なるッ♡なりますッ♡ああ♡凄いいッ♡こんな罪深いセックス♡凄いいいッ♡」

「ああッ好きッ♡徹也くん大好きッ♡オバさんを初めてオンナにしてくれた人なのッ♡」

「じゃあ俺のコト愛してる?」

「愛してるッ♡徹也くんッ♡本気よッ♡愛してるッ♡オバさん本気になのちやったのッ♡」

「へえ……じゃあもう一つお願い聞いてくれる……?」

「俺と子作りしようぜ綾子♡」

「あッ♡あッ♡そんな……♡ダメよッ……徹也くん……♡それだけはダメッ♡そんな怖いコト……♡」

「何だよ俺の奥さんになったんじゃねえのかよ!」

「なるッ♡なるけど……それだけはダメよおッ♡」

「何で?夫婦なら子作りするのは当たり前前だろ?」

「そッ……それはそうだけど……あむうッ♡」

「ああッ♡今キスズルいッ♡ああッ♡ダメッ♡子宮奥キュンキュンするッ♡開いちやうッ♡奥開いちやうッ♡」

「綾子俺と交尾しまくるようになって周期安定するようになったって言うてたろ?ちゃんと把握してるぜ
そろそろデキる時期じゃねえの♡」

「あ……ッ♡あ……ッ♡」

「今日ははじめからそのつもりで来たんだよ♡夫婦の寝室で綾子に嫁宣言させるのと妊活認めさせにな♡」



「ああッ♡キチクッ♡もうどうなっても知らないからッ♡」

「安心しろって♡絶対妊娠させてやっからッ♡」

「バカッ♡こんなオバさんそう簡単にデキるわけないでしょッ♡」

「そっちこそ俺のザーメンを甘く見んなよッ♡オラッ♡」

「おッ♡おおおッ♡」

「オラッ♡腰引くなババアッ♡ちゃんと子宮口でチンポにしゃぶりつけッ♡」

「あああッ♡こうッ!? こうッ!」

「そーだよッ♡ちゃんど妊娠しやすいように子宮口無防備にしてチンポにくっつけるッ♡」

「くっつけるッ♡くっつけるッ♡くっつけるからもう子宮口めちゃくちゃにしてッ♡オバさんの心も体も全部墮として徹也クンのモノにしてえええええッ♡」



「オラ綾子ッ♡ケツ上げろッ♡」

「おほおおッ♡くるッ♡凄いッ♡チンポ奥まで刺さるッ♡凄いッ♡この格好ッ♡この格好しめごいいいいいいッ♡」

「イイカッ!?こんな酷えカッコでやられて気持ちいいか!?

「イイッ♡最高ッ♡ずっとホントはこうされたかったのッ♡」

「イグッ♡おッ♡イツちやうッ♡徹也クンッ♡凄いのくるッ♡」

「よしッ♡いくぞッ♡一緒にいくぞッ♡」

「おおッ♡キてッ♡キてッ♡妊娠させてッ♡綾子を全部屈服させてッ♡全部徹也クンのモノにしてええええッ♡」

「おッ……イグッ♡イグ おおおおおおおおッ♡♡♡♡」



「…………ふうう……………出た出た……………」

「おッ…………♡おおお…………♡」

「いいかババア？これから毎回
デキるまで中出しすつからな♡」

「ふあぁいい…………♡嬉ひい…………♡
♡こんなオバさんで良かったら…………♡
♡赤ちゃん一緒につくっくれくらはいい…………♡」

「マジで酷えイキっぷりだなあ♡」

「綾子、愛してるか？」

「愛ひてる…………♡徹也様…………愛ひてまふ…………♡」

2022 paradiddle presents.



奥付

誌名:M.I.L.F. HUNTERS FILE G.W. special 2022

著者:山岡鋼鉄郎

発行日:2022/05/08

18歳未満の方の閲覧を固く禁じます。

<https://www.pixiv.net/users/217138>